

形のないたからもの～文化財を大切に～

文化財には形のあるもの（有形文化財）だけでなく、伝統的な行事や工芸技術など、形のないもの（無形文化財）もあります。これらは数百年もの長い間、人から人へ継承され、残されてきました。八千代市内にも様々な無形文化財が残っています。

八千代市で指定している五つの無形文化財

○獅子舞○

八千代市の獅子舞は悪疫退散や五穀豊穣などを願い、おなかに太鼓をつけた三匹の獅子が踊る民俗芸能のひとつです。市内ではかつて9か所で行われていましたが、現在は佐山と勝田の2か所のみ続けられています。

佐山の獅子舞

毎年9月23日、佐山の熱田神社、妙福寺。



▲佐山の獅子舞

勝田の獅子舞

毎年9月第1日曜日、勝田の円福寺、駒形神社。



▲勝田の獅子舞

○神楽○

神楽は神様へ五穀豊穣や平穏への祈りと感謝を表す民俗芸能です。日本の神話をもとに、神々の姿をした演者が囃子に合わせて舞います。市内では村上で行われています。

村上の神楽

毎年1月15日、10月9日、村上の七百餘所神社。



▲村上の神楽

○オビシャ○

オビシャは地域の神様を世話する当番を交代し、弓矢的的を射て一年間の作柄を占う新年の行事です。現在も市内の様々な地域で行われていますが、多くは簡略化し、高津と高津新田（八千代台西）の2か所のみ弓射ちが行われています。

高津のハツカビシャ

毎年1月20日、高津の高津比咩神社。



▲高津のハツカビシャ

高津新田のカラスビシャ

毎年2月11日、八千代台西の諏訪神社。



▲高津新田のカラスビシャ

大切にしよう八千代の文化財

無形文化財は後継者の人々の努力によって守られています。紹介した行事は一般に公開されているため、ぜひ八千代の伝統行事を直接見学してみてください。

教育委員会では市指定文化財の保護のほ

か、市内の歴史・文化を文化財として残すための調査活動を行っています。現在も続いている行事はもちろん、過去に行われていた行事についても貴重な八千代の宝です。

ご存じのことがありましたら、文化財班ま

で情報をお寄せください。

この特集のお問い合わせは、
文化・スポーツ課文化財班
■481-0304へ

広告